



# Deal Capsule



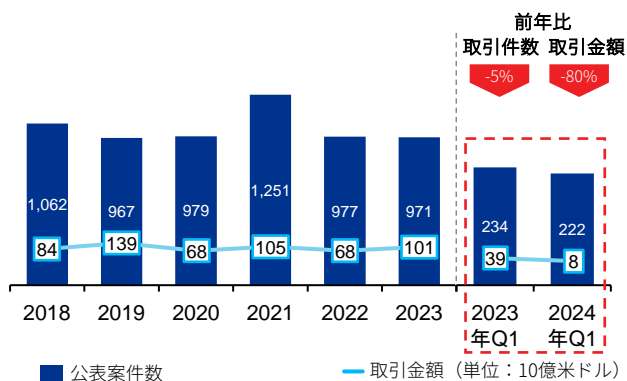
化学セクターにおけるM&A取引

—

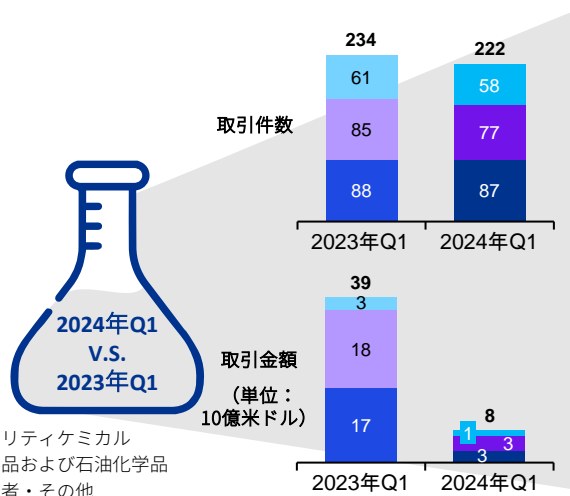
2024年6月

# 化学セクター概況

## 化学セクターにおけるM&A取引の推移



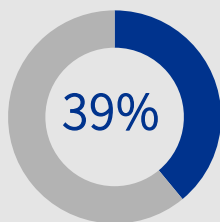
注: 取引金額は小数点以下を切り捨て  
出処: Refinitiv, Mergermarket, Capital IQ, KPMGドイツによる分析



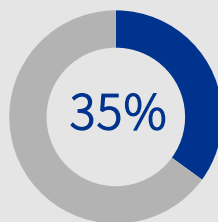
注: 取引金額は小数点以下を切り捨て  
出処: Refinitiv, Mergermarket, Capital IQ, KPMGドイツによる分析

## M&Aハイライト

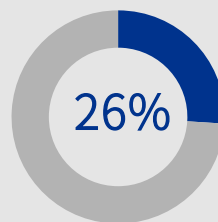
M&A取引の中心カテゴリーはスペシャリティケミカルで、取引全体の39%を占めた



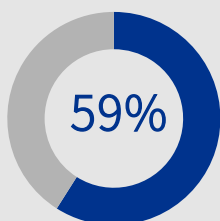
基礎化学品および石油化学品が35%と続き



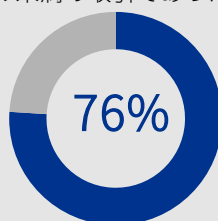
販売事業者・その他は26%であった



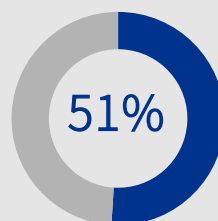
化学セクターを対象会社とするのは主に戦略的投資家で、取引全体の59%



小規模取引が大部分を占め、金額が公表された取引のうち76%が50百万ドル未満の取引であった



一方、取引金額上位10件の合計額は取引総額の51%を示す



出処: Refinitiv, Mergermarket, Capital IQ, KPMGドイツによる分析



2024年第1四半期における化学業界のM&A取引は、件数・金額ともに前年同期を下回った。その主な要因は中国の成長鈍化と生産コストの上昇であり、企業は需要減と原料費高騰に直面し、M&Aへの投資意欲を減退させた。だが、こうした問題はあるものの、各企業は継続的にサステナビリティにフォーカスするとともに、ノンコア資産の見直しに取り組んでいることから、2024年の見通しにはわずかながら明るい兆しが見える。

**Christian Klingbeil**  
PARTNER, KPMG IN GERMANY

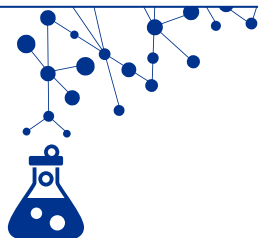
# 化学セクター概況

## 取引の背景

- 化学セクターにおける2024年第1四半期のM&A取引は、(特にヨーロッパにおける) エネルギー価格の上昇、生産コスト高、原料コスト高に起因し、取引件数は前年比5%の減少、取引金額は同80%の減少となりました。
  - 各種石油化学品における供給過多と、予想を下回る中国市場の成長率は、投資家心理を一層冷え込ませました。
  - 同四半期において、10億米ドル超の大型案件が無かったことも、取引総額減少の一因です。
- 金融引き締め政策や資金調達のコスト高など、マクロ経済の環境悪化もM&A取引鈍化に拍車をかけました。
- M&A取引の大半は、国内資産の獲得を目的とする国内案件でした。
  - 近年サプライチェーンが混乱しているアジアでは、国内生産への転換が進んでいます。
- サステナビリティおよびESG目標達成を視野に入れたテクノロジー関連取引が大幅に増加する見通しです。
- また、プライベートエクイティによる長期保有銘柄のエグジットを企図した売却が進むと見られ、プライベートエクイティ関連取引の存在感が増すと予想されます。



- スペシャリティケミカルおよび基礎化学品・石油化学品企業のバリュエーションは前四半期比で低下しました。これらのサブセクターが周期的な低迷期を迎えたことがマルチプル低下の要因と見られます。
- 一方で、販売事業者・その他のサブセクターのマルチプルは安定的に推移しました。
- KPMGのDeal Thermometerによれば、化学業界のM&A環境は良好です。投資意欲の高まりに加え、借入額がわずかに減少したことが、この好環境を牽引しています。

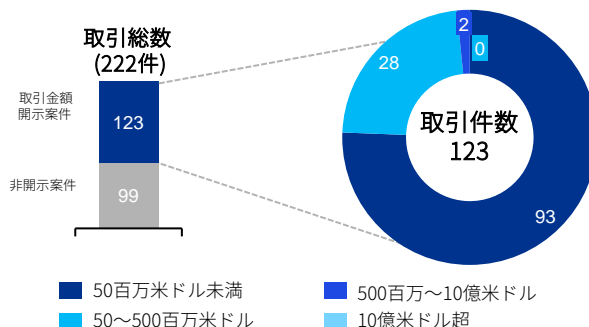


## 今後の見通し

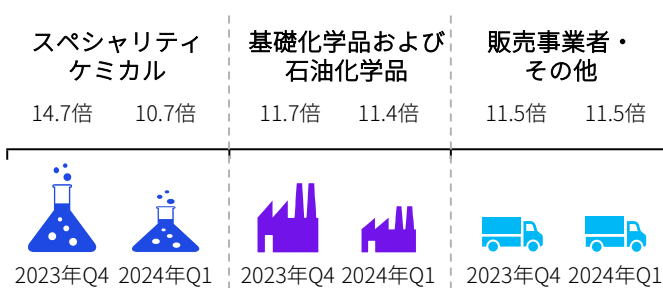
業界の長期見通しは良好ですが、経済安定化の明確な兆しが見えず、2024年も引き続き慎重な姿勢が続くでしょう。米国は、地政学的変化を背景とする国内回帰の動きや、良好な投資環境、資源安定性により、M&A投資先としての魅力を増しています。加えて、ポートフォリオ最適化のためのノンコア資産の売却、また、企業に対する脱炭素化やサステナビリティ経営を求める圧力の増大も、M&Aを短期的に促進すると考えられる重要な要素です。

## 2024年Q1のM&A概要

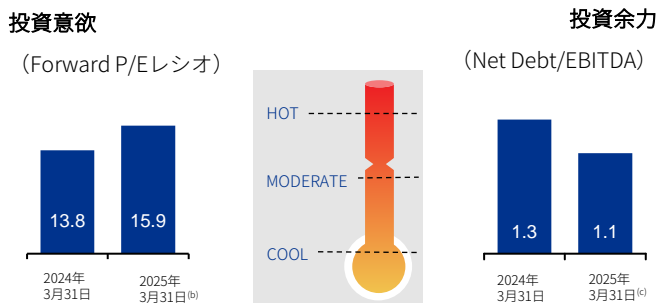
### 公表案件数内訳 (規模別)



## サブセクター別上場企業のEBITDAマルチプル<sup>(a)</sup>



## Deal Thermometer 2024年Q1



Note: (a) 各四半期末の90%分位を指す  
(b) Forward P/Eレシオ: 2024年の時価総額を2025年の予想純利益で割った数値  
(c) 取引余力: 2025年の予想ネットデットを予想EBITDAで割った数値  
出処: Refinitiv, Mergermarket, Capital IQ, KPMGドイツによる分析

# 化学セクター概況

2024年Q1に公表された化学セクターの大型グローバル案件(a)



2024年Q1に公表された案件のうち、世界上位10件の取引金額：

**41億米ドル**



うち化学セクターの取引金額が占める割合：

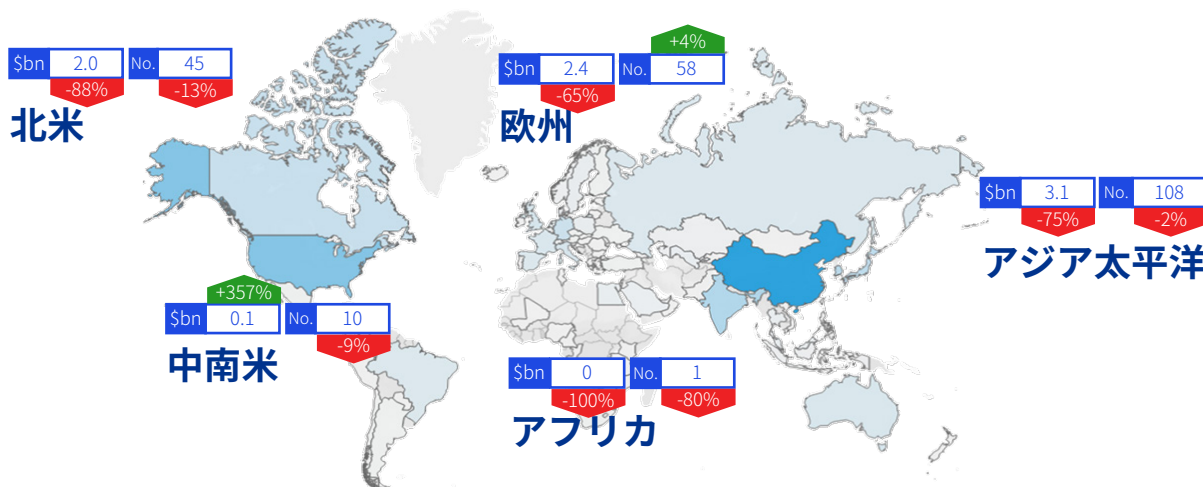
**51%**

買収企業	被買収企業	分野	事業領域	案件公表日	状態	取引金額(b)
Orica Ltd.	Cyanco International LLC	スペシャリティケミカル	シアン化ナトリウム	2024年2月21日	保留中	0.6
Helmond Holding Group Corp	Hydrogen Utopia International PLC	基礎化学品・石油化学品	廃棄物由来水素製造技術	2024年2月26日	保留中	0.6
Basell International Holdings BV	National Petrochemical Industrial Co. (owned by Alujain Corp.)	基礎化学品・石油化学品	ポリプロピレン	2024年1月16日	保留中	0.5
RHI Magnesita NV	Resco Products Inc	販売事業者・その他	アルミナモノリシス耐火物	2024年3月29日	保留中	0.4
Kingswood Capital Management, L.P.	Emulsifiers business of Corbion NV	スペシャリティケミカル	食品用乳化剤	2024年1月26日	保留中	0.4
Bondalti Iberica SL	Ercros SA	基礎化学品・石油化学品	基礎化学品	2024年3月05日	保留中	0.4
Consolidated Energy Ltd.	Oman Methanol Co.	基礎化学品・石油化学品	メタノール	2024年2月2日	完了	0.3
KCC Corp.	MPM Holding Inc	基礎化学品・石油化学品	シリコーン、シリコーン誘導体	2024年3月28日	保留中	0.3
SCF Partners, Inc.	Pipeline and Industrial Materials business of Entegris Inc.	スペシャリティケミカル	抵抗低減剤	2024年3月04日	完了	0.3
GIC Leichhardt Industrials Group Pty Ltd.	Dampier Salt Ltd-Lake MacLeod Operation	販売事業者・その他	塩、石膏	2024年1月16日	保留中	0.3

注： (a) フィナンシャルインベスターは斜体表記  
(b) 数字の単位はすべて10億米ドル

出処：Refinitiv、Mergermarket、KPMGドイツによる分析

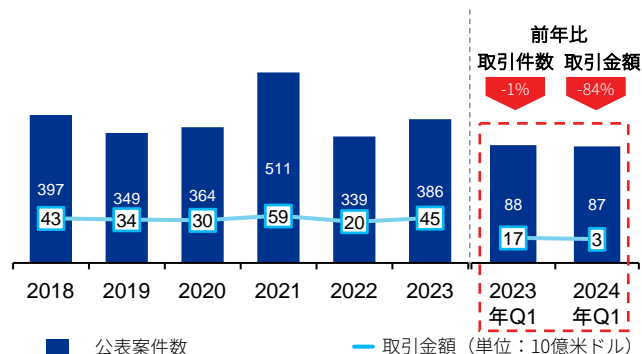
## 地域別取引件数および金額(c)



注： (c) 被買収会社の国を取引件数に基づき青の濃度で分類  
出処：Refinitiv、Mergermarket、KPMGドイツによる分析



## M&A取引の推移(a)



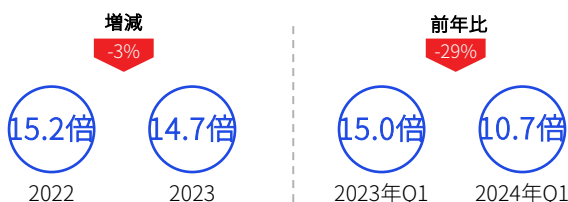
注: (a) 取引金額は小数点以下を切り捨て

## 2024年Q1の取引金額分布(b)



注: (b) 51件の公表取引金額に基づく (単位: 10億米ドル)

## 上場企業のEBITDAマルチプル



出処: Thomson One、KPMGドイツによる分析

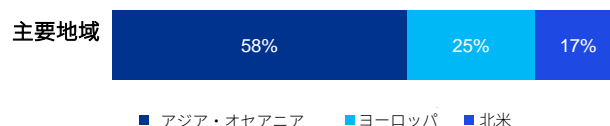
## 概況

2024年第1四半期のスペシャリティケミカル分野におけるM&A取引は、業界全体の傾向と同様に、件数、金額の両面において前年比で減少しました。これは、金利上昇など不安定な経済情勢に対する投資家の懐疑心に起因するものと見られます。

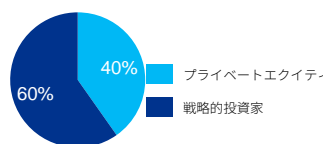
取引の大半を占めたのは、国際的プレゼンスの向上と、生産能力および製品ポートフォリオの拡大を目指す企業による戦略的投資案件でした。

プライベートエクイティ投資家たちは、サステナブル製品への明確な志向のシフトを背景に、サステナブル特性を備えた（ESG対応の）アセットに対する需要の高まりを示しました。

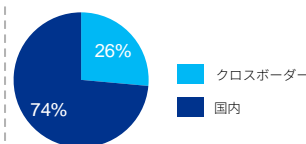
## ハイライト



### プライベートエクイティ／戦略的投資家



### クロスボーダー／国内



## 今後の見通し

本分野におけるM&Aは、短期的には逆風下にあるものの、その後、勢いを増すことが予想されます。エネルギー転換の時流に乗じたい投資家が、先進技術やサステナブルなソリューションへの投資に引き続き力を入れるとみられるためです。

## 2024年Q1公表案件トップ5(c)

買収企業	被買収企業	目的	取引金額(d)
Orica Ltd	Cyanco International LLC	鉱業化学品事業の補強、シアン化ナトリウムの生産倍増、北米の金鉱業における競争力の向上	0.6
Kingswood Capital Management, L.P.	Emulsifiers business of Corbion NV	対象企業のコアコンピタンスである発酵技術への集中と、それによる事業合理化	0.4
SCF Partners, Inc.	Pipeline and Industrial Materials business of Entegris Inc.	対象企業の将来的な拡大計画の推進、中流インフラ運用・保守に特化したソリューションによる価値創出	0.3
Investor Group	SunFire GmbH	対象企業のクリーンエネルギーへの転換推進およびグリーン水素技術市場における地位強化	0.2
Investor Group	INERATEC GmbH	サステナブルな合成燃料の生産能力拡大、チリ・オランダにおけるプレゼンス強化	0.1

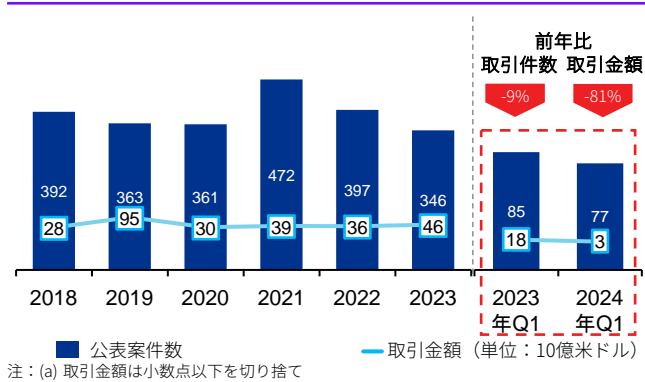
注: (c) フィナンシャルインベスターは斜体表記

(d) 数字の単位はすべて10億米ドル

# 基礎化学品および石油化学品



## M&A取引の推移(a)

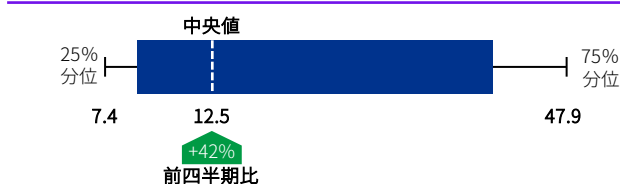


## 概況

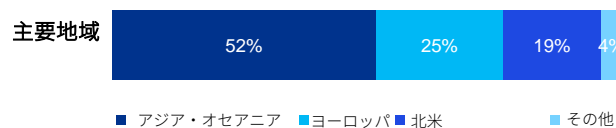
2024年第1四半期の基礎化学品および石油化学品分野におけるM&A取引は、エチレンの供給過剰と利益率の低下、不安定な地政学情勢によるエネルギーコストの上昇により、大きく減少しました。

取引件数は前年比9%の減少、取引金額は同81%の減少と大幅な落ち込みとなりました。件数の減少は主に中南米での取引件数減少に起因し、金額の減少には全地域の落ち込みが影響しています。とりわけ、新たな石油生産能力向上に伴う供給過剰への懸念と、中国の成長鈍化による石油化学品需要の低迷に起因したアジア太平洋地域での減少が突出しました。

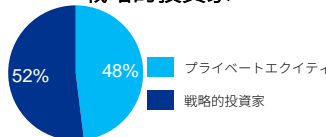
## 2024年Q1の取引金額分布(b)



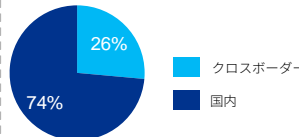
## ハイライト



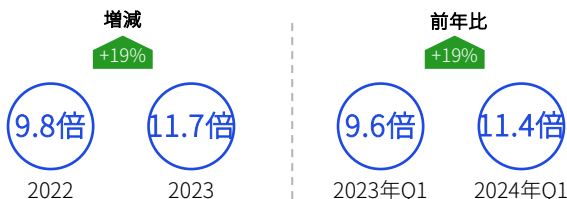
### プライベートエクイティ／戦略的投資家



### クロスボーダー／国内



## 上場企業のEBITDAマルチプル



出処: Thomson One、KPMGドイツによる分析

## 今後の見通し

主要な最終消費市場における需要の低迷、中国の低成長、供給過剰の継続などの要因により、石油化学品分野では今後数年にわたり取引の停滞が続く見込みです。

## 2024年Q1公表案件トップ5

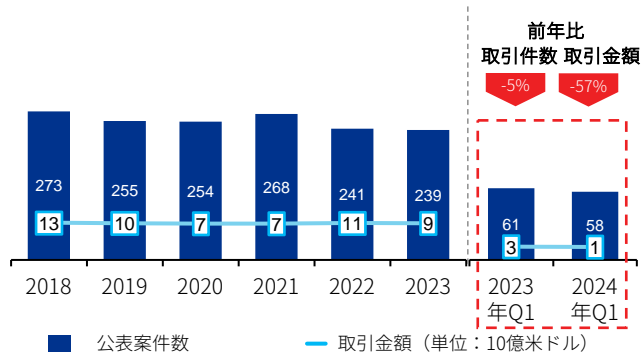
買収企業	被買収企業	目的	取引金額(c)
Helmond Holding Group Corp.	Hydrogen Utopia International PLC	バイオエネルギー関連機能の強化、水素生産能力の拡大、サステナブルエネルギー市場における地位の強化	0.6
Basell International Holdings BV	National Petrochemical Industrial Co.	サウジアラビアにおける競争力の高い原材料の獲得および製品マーケティング機能の強化によるポリプロピレン (PP) 事業の拡大	0.5
Bondalti Iberica SL	Ercros SA	スペインにおける下流事業のプレゼンス強化	0.4
Consolidated Energy Ltd	Oman Methanol Co.	展開地域および生産能力の拡大、メタノール市場での地位確立	0.3
KCC Corp	MPM Holding Inc.	製品ポートフォリオおよび展開地域の拡大、財務基盤の強化	0.3

注: (c) 数字の単位はすべて10億米ドル

# 販売事業者・その他

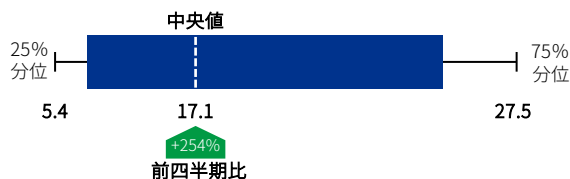


## M&A取引の推移(a)



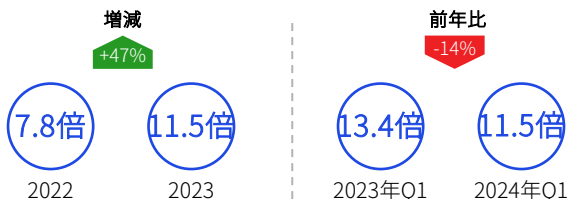
注: (a) 取引金額は小数点以下を切り捨て

## 2024年Q1の取引金額分布(b)



注: (b) 27件の公表取引金額に基づく (単位: 10億米ドル)

## 上場企業のEBITDAマルチプル



出処: Thomson One、KPMGドイツによる分析

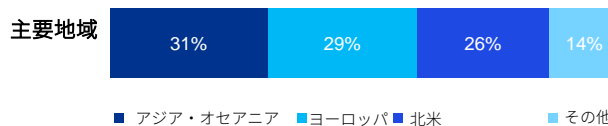
## 概況

販売事業者・その他の分野における2024年第1四半期のM&A取引は、人件費と金利の上昇により、取引件数では前年比5%の減少、取引金額では同57%の減少となりました。

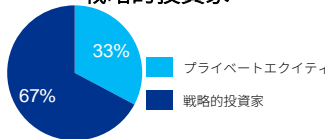
この分野で多くを占めたのは、ポートフォリオ強化や展開地域の拡大、生産能力向上を目的とした小規模取引です。

また、同期間には、資源の国有化と重要産業における企業の保有強化を目指した、メキシコ政府によるExportadora de Salの戦略的買収がありました。

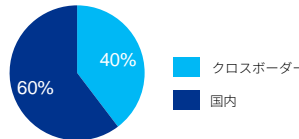
## ハイライト



### プライベートエクイティ／戦略的投資家



### クロスボーダー／国内



## 今後の見通し

厳しいマクロ環境にあって、化学品販売事業者は成長を実現すべくM&Aや経営統合を推進しています。持続的成長の鍵は、戦略的なポートフォリオの整理や、リチウムなどのバッテリー材料への継続的な投資です。

## 2024年Q1公表案件トップ5 (c)

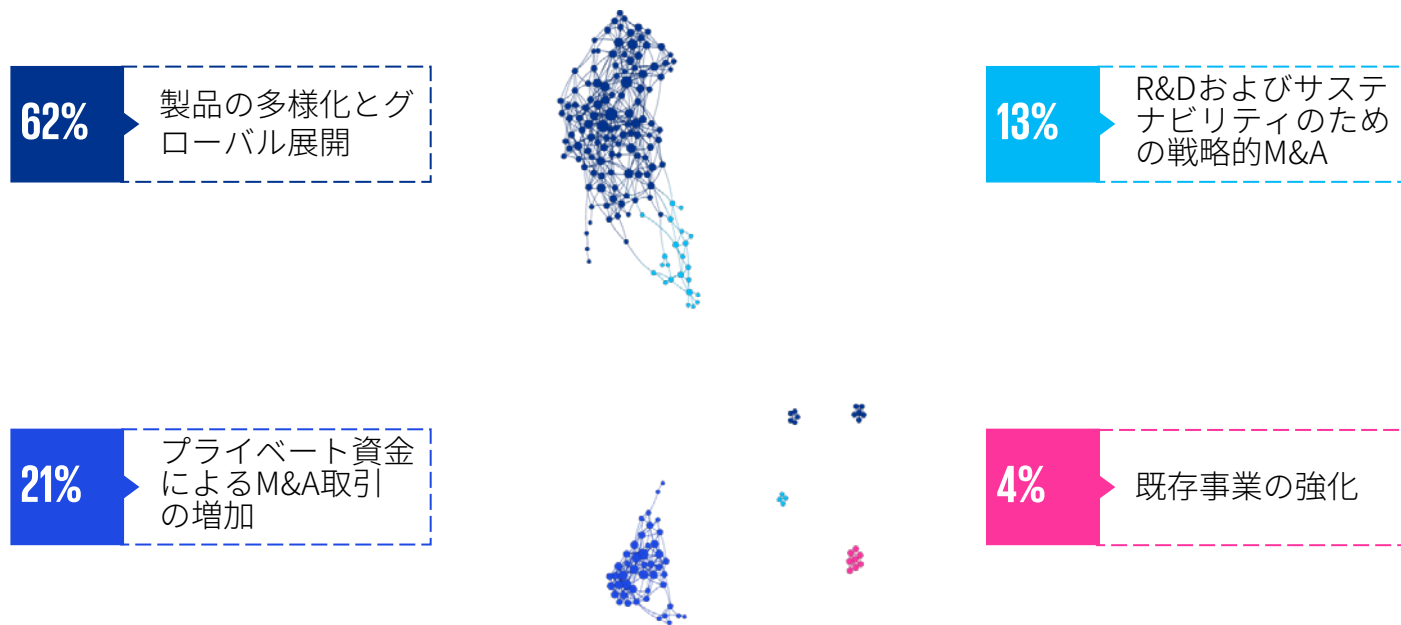
買収企業	被買収企業	目的	取引金額(d)
RHI Magnesita NV	Resco Products Inc.	耐火物市場での地位強化、米国、メキシコ、カナダにおけるグローバル展開と生産拠点の拡大	0.4
Leichhardt Industrials Group Pty Ltd.	Dampier Salt Ltd-Lake MacLeod Operation	鉱業の生産能力および展開地域の拡大	0.3
Investor Group	Lilac Solutions Inc.	対象企業の成長計画の推進、独自のリチウム抽出用イオン交換材料の生産能力の拡大	0.1
Mexican government	Exportadora de Sal SA de CV	メキシコ国内の戦略的塩資源に対する支配力の強化、持続可能な経済発展の促進、塩生産における国有割合の増加	0.1
Adenia Partners Ltd.	Air Liquide- Assets	アフリカ地域に展開する独立産業用ガスグループの設立およびその生産・貯蔵機能強化への投資	0.1

注: (c) フィナンシャルインベスターは斜体表記

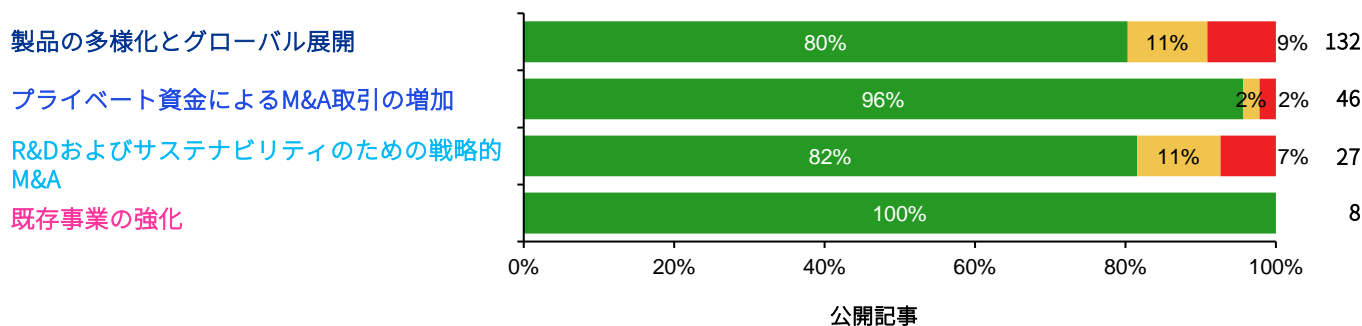
(d) 数字の単位はすべて10億米ドル

# M&A動向まとめ

## 2024年Q1に公開された各種ニュース・ブログ記事から抜粋した、化学産業の最新M&A動向を示すキーワード<sup>(a)</sup> (n=213)



## 2024年Q1の化学産業動向に対する意識分析 (n=213)



- 2024年第1四半期、業界ではM&Aに対する楽観的ムードが継続しました。化学企業は、成長市場における製品ポートフォリオの充実、既存市場におけるプレゼンスの強化、サステナブルなソリューションの採用に、積極的に取り組んでいます。
- また、アーリーステージの化学系スタートアップは、デットファイナンスおよびエクイティファイナンスの両方を活用し成長機会を追求しており、それによりポジティブな心理が高められています。
- 加えて、業務プロセスの効率化を通じて市場の変化に迅速に対応するため、技術強化やサステナブルなソリューションへの投資にも力が注がれています。

### Sentiment summary

Positive	85%
Neutral	8%
Negative	7%

注： (a) Quidの自然言語処理解析 (NLP) に基づく  
出処： Quid、KPMGドイツによる分析



## 本報告書に関する基本事項

本報告書を通じて使用されている取引件数および金額は、2024年3月31日時点でRefinitivのデータベースで提供されている発表日の数字を独自調査により補足したものです。後続の号には発行日以降に入手可能となったデータが反映されるため、過去の号と記載が異なる場合があります。本報告書では少数株主持分の取得、残存持分の取得、資本増強を含む金額公表済みおよび非公表のM&A取引を対象にしており、自社株買いおよび分社化取引は明確に除外しています。各データの合計値と表示された合計値の差異は端数処理の影響によるものです。取引件数および金額は、下記の分野で展開する対象企業を分析して算出しました。

## 化学品

- 粘土、カオリン、セラミック、耐火鋳物
- 化学および非金属鋳業（燃料を除く）
- 肥料・農薬
- 産業用ガス
- スペシャリティケミカル
- 化学品卸売
- プラスチック、ゴム部品

KPMGのDeal Thermometerは、S&P Capital IQから提供された上場企業の財務データを基にしています。これら上場企業は、上記分野で活動する四半期末の時価総額が10億米ドル以上の企業で、化学セクターでは209社が該当します。

## 出処

- Refinitiv (Thomson Reuters)
- S&P Capital IQ
- Mergermarket
- 各社プレスリリース



本冊子は、KPMG AG Wirtschaftsprüfungsgesellschaft（ドイツ）が2024年5月に発行した「Deal Capsule」を、KPMGドイツの許可を得て抄訳したものです。翻訳と英語原文間に齟齬がある場合は、当該英語原文が優先するものとします。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するよう努めておりますが、情報を受け取られた時点およびそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2024 Copyright owned by one or more of the KPMG International entities. KPMG International entities provide no services to clients. All rights reserved.

© 2024 KPMG FAS Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved.

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.

## お問い合わせ先



### Christian Klingbeil

Partner, Deal Advisory  
T +49 89 9282-1284  
cklingbeil@kpmg.com



### 高橋 恵太

KPMG FAS 執行役員パートナー  
KPMGジャパンエネルギーセクター  
化学セクター統轄リーダー

## 執筆者

### Christine Greupner

Senior Manager, Deal Advisory, KPMG in Germany

### Stephan Musfeld

Senior Manager, Deal Advisory, KPMG in Germany

### Alexander Bruns

Deal Advisory, KPMG in Germany

### Shreya Gupta

KPMG Global Services

### Sejal Singh

KPMG Global Services